

東亜電気工業株式会社 様

使い勝手の大幅な向上により、さらなる効率化を実現！
システム管理者機能強化によるメンテナンス工数の大幅削減！



卸売業

業務効率向上

保守運用コスト削減

2.0移行

会社概要

- 会社名
東亜電気工業株式会社
- 所在地
東京都千代田区外神田5丁目1番4号
- 事業内容
電気・電子材料および部品の卸売業
- 従業員数
400名
- 年商
506億円（平成21年2月期）
- URL
<http://www.toadenki.co.jp/>

POWER EGG利用環境

- 導入時期
2003年1月
- 製品バージョン
POWER EGG2.0
※2009年8月Ver1.6よりバージョンアップ
- ライセンス数
500ライセンス

【取材にご協力いただいた方】



経営管理本部長・常務取締役
深作 陽一 様



企画部・部長代理
亀井 稔 様



経理部・次長
鈴木 由彦 様

POWER EGG2.0への移行までの課題

自社使用にカスタマイズされていた経費精算システム

なぜPOWER EGG2.0まで移行を見合わせていたのか、その最大の理由は、同社仕様にカスタマイズされていた経費精算システムにあった。POWER EGG をバージョンアップすると、この経費精算システムも再構築が必要となり、それにはかなりの費用がかかる。だから移行に踏み切れなかったのである

移行決定の背景

経費精算システム稼働に支障を来たず、システム再構築の必要なし

逆に言えば、この経費精算システムの稼働に支障を来さず、しかもシステム再構築が必要ないなら、バージョンアップに対する障害は無い。そこで、POWER EGG2.0標準の『経費精算ワークフロー』を評価してみたところ、従来のシステムと比較して遜色ないどころか、より一層の効率化が期待できそうだと結論に達した。システム変更に伴う、経費精算業務の遅滞もない。ならば結論は早い。もちろん他社システムの検討も行われたが、いずれも同社の要求を満たすレベルのものは見当たらなかった。そのため、経費精算システム再構築コストの心配もなくなった以上、当然のことのようにPOWER EGG2.0への移行が決定されたのだ。

POWER EGG2.0移行のポイント

既存のデータはそのまま移行OK

同社では、ワークフローを用いた見積システムや基幹システムとのリスクメッセージ連携などが稼働し、POWER EGGが日常業務にとって不可欠のシステムとなっている。それだけにPOWER EGG2.0への移行に際して、最も懸念されたことの1つ、それが『既存データの移管』の問題であった。しかしそれも、以前のデータ（見積書や稟議申請書）がそのままスムーズにコンバート（移行）できる、ということでもくに混乱もなし。改めての社内説明会を開くこともなく、バージョン移行に関する案内文書がPOWER EGG で回覧されただけで、さしたるトラブルもなくPOWER EGG2.0への移行が行われた

移行後の経営サイドのご評価

1. 稟議処理スピードが向上
2. スケジューラの使い勝手が向上
3. コメント添付機能が便利
4. 経営判断に役立つリスクメッセージ連携

「稟議処理がしやすくなりました。スケジューラも使いやすくなったし、経営の一員としては基幹システムとのリスクメッセージ連携機能も、経営判断に役立っています。まあPOWER EGG2.0は、もう当社の標準システムと言えるぐらい、業務遂行上、不可欠なシステムですね」

経営管理本部長・常務取締役
深作 陽一 様

POWER EGG2.0移行後の効果

ユーザビリティの良さ、検索性の向上に加え、ワークフローの便利さや楽々メンテナンスなど、「当初の予想よりもはるかに使いやすい」と利用者や情報システム担当の評価も上々

1. ユーザビリティ（使い勝手／操作性）の向上

移行前の課題

- POWER EGG Ver1.6の場合メニュー操作にちょっとだけ手間がかかった。大したことでなかったが、日常使うそのつどの作業なので、これが累積すると時間ロスはバカにならない

POWER EGG2.0移行後の効果

- メニュー操作がラクになり、スピーディーかつ効率的になった
- ユーザーインターフェースがすごく使いやすくなった
- 利用者は直感的に使いこなせるので、移行に際して改まった説明会が必要なかった

2. 検索性の向上

移行前の課題

- 業務報告書とか稟議書とか、過去書類の検索に大変苦労していた。以前は型番などが検索にかからないケースが多く、何回検索しても目的の書類が見つからなかった
- 添付書類は名前が番号表示だから探しにくいし、また3つまでしか書類を添付できなかった



【検索結果一覧画面】

POWER EGG2.0移行後の効果

- 検索機能が格段に良くなった。容易に目的の情報や書類にたどり着ける
- 添付書類の名前がそのまま反映されるので、探す際にラクになった

3. ワークフローのルート設定とメンテナンスが楽々

移行前の課題

- POWER EGG Ver1.6の場合、ルート設定が少々面倒だった。でもルート設定の制約は減ったので、少しぐらい面倒なのは仕方ないと思っていた

POWER EGG2.0移行後の効果

- ところが POWER EGG2.0になると、そのストレスが大きく減った。ルートが改善され、ルート部品も共通化でき、設定時の融通がきくようになった。とくに組織異動の際の組織図メンテナンスが簡単になり、新しいルートを組む際、ルート部品を共通部品として登録することで使いやすくなり、ルートを組むのが簡単になった。ワークフローの管理効率が、Ver1.6の頃に比べ倍以上ラクになったと思う。情報システム管理者としては非常に助かっている

今後のPOWER EGG活用について



企画部・情報システム課
課長 塚越 育美 様

「スマートフォンからの利活用を検討」

「当社では営業マン、および管理部門の一部にモバイルPC用通信端末を配布しています。今後はこれをスマートフォンに切り替えてPOWER EGGを使えるようにできれば、と考えています。もうすでに一部検証済みで、メール、スケジューラーは使える事は確認しました。あとはワークフローの承認システムがうまく使えるかどうか、利用制限やセキュリティ設定の問題も含めてそのあたりを検証し、POWER EGG2.0の活用局面を広げて行くつもりです」

取り扱いパートナー



ディサークル株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-36-1

住友不動産千代田ファーストウイング

TEL:03-3514-6060 FAX:03-3514-6069

<http://www.d-circle.com/>

※POWER EGGはディサークル株式会社の登録商標です。

※その他記載されている会社名、製品名およびサービス名等は各社の登録商標または商標です。

※本事例に記載された情報は初掲載時のものであり、閲覧される時点では変更されている可能性があることをご了承ください。